

船舶事故等調査報告書

平成25年4月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012長第88号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年11月13日 02時40分ごろ
発生場所	長崎県平戸市黒子島北岸（平戸瀬戸） 平戸市所在の広瀬導流堤灯台から真方位222° 890m付近 （概位 北緯33° 22.5′ 東経129° 33.7′）
事故等調査の経過	平成24年11月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 日徳丸、497トン 140573、朝日海運株式会社（船舶所有者）、日和海運有限会社（船舶借入人）
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷及び凹損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、塩約1,500tを積載し、船首約3.41m、船尾約4.48mの喫水で平戸瀬戸を南進中、船長が、黒子島付近で灯火に気付いて機関停止、左舵一杯としたが、平成24年11月13日02時40分ごろ黒子島北岸の浅所に乗り揚げた。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期
その他の事項	黒子島北東方では、本事故当時、航路浚渫工事が実施されており、夜間は、航路北口に警戒船が配備され、工事区域を示す複数の標識灯が設置されていた。 船長は、約40回の平戸瀬戸の航行経験があったが、本事故当時、海上保安部のホームページにおいて、工事期間中、南航船は工事区域の東側を航行することなどの注意を喚起する文書が掲載されていることを知らなかった。 警戒船は、本事故当時、無線で本船の呼出しを行ったが、本船は、船名を呼ばれなかったため、無線で呼び出されていることに気付かなかった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与	あり なし なし

判明した事項の解析	本船は、平戸瀬戸の黒子島北方沖を南進中、船長が浚渫工事に伴う航行に関する情報を入手していなかったことから、工事区域の西側を航行し、黒子島北岸の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、平戸瀬戸の黒子島北方沖を南進中、船長が浚渫工事に伴う航行に関する情報を入手していなかったため、工事区域の西側を航行し、黒子島北岸の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 航行予定海域については、海上保安庁のホームページ等を活用し、事前に水路調査を行い、航行に関する情報を入手しておくこと。</li></ul>